

<当社の技術的な特徴と強み>

当社の60年以上続く社歴のなかで、主要顧客であるソニーの製品に使用される小物金属部品の各種加工を通じて当社の技術は培われてきた。特にプレス加工による小型精密金属加工部品を得意分野として、多品種小ロット生産体制のもと、自社内に複合的な金属加工体制を有し、外注に頼らず設計から最終加工までの一貫生産体制により短納期ニーズへの対応を可能にしてきた。さらに金属部品の素材も20種類以上におよび、顧客からの多様な部品加工ニーズにも対応できる体制を整えてきた。今後はこれらの強みをさらに進化させ新たなものづくり方法やプロセス開発に対応する必要性がある。

★当社の「技術的な特徴と強み」を整理すると下表となる。

基本項目	当社の技術的な特徴と強み
①特殊仕様対応	顧客ニーズに基づく一品一様な小型精密金属加工部品の生産ができる さらに20数種以上の金属材料への加工が可能である（鉄7種、非鉄16種の実績）
②小ロット対応	多品種小ロット生産対応により、顧客ニーズの極小ロットにも対応可能である 具体的には10～500個/ロット、毎月500～1000品種の生産対応
③一貫生産対応	金型設計/金型製造/機械加工/板金加工等の複合加工により一貫生産が可能であり、ワンストップサービスができる。
④短納期対応	自社内での一貫生産体制により、部分的には外注に頼らない自社内での品質作り込みと短納期対応が可能である。
⑤その他	ソニー(株)自主品質認定工場であり、経営財務面では無借金経営である。 またソニーの「グリーンパートナー環境品質認定」の事業者でもある

<参考事例> 当社が得意とする高精度で複雑形状・複合加工の小物金属部品



複雑な曲げプレス部品

極小～大きな部品でも複雑な曲げ加工が可能です。

精密プレス部品

せん断面、カム溝、穴位置など厳しい公差の要求される製品です。

塗装に限らずメッキやアルマイト、また各種コーティングなども対応できます。

マシニングセンターでの2.5D 切削加工でも金属だけではなくアクリルやABSなどお客様の多様なニーズにお答え致します。



プレス部品から、切削・アッセンブリ・塗装までの複合加工で従来の製品よりコスト面でも貢献致します。また、切削加工も難材や高級材でもワイヤーカットでブランクを取りMC加工するなど、お客様の立場になってご提案させて頂いております。

4. 本事業で導入する新たな設備

本事業で導入予定の設備は下記の二つであり既存設備と融合することにより外注加工に依存することなく、一貫生産ライン化によりワンストップサービス化が実現できる。顧客ニーズの高度化にも対応可能となる。

導入予定の設備	主な特徴と内容
(1) マシニングセンター (FANUCロボドリル)	<ul style="list-style-type: none"> ・当社の手がける小物金属部品、小型金型の機械加工の両方に対応できる。 ・既存設備と融合することで今後予想される新商品対応力が大幅に高まる。 ・今後要求される寸法精度を満足することができる
(2) 画像寸法測定器 (キーエンス IM-6700/6225T)	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元寸法測定と自動記録 ・画像測定の精度： 広視野：Φ100×L200mm 高精度：□25×L125mm 繰り返し精度： 広視野：±1μm 高精度：±0.5μm 測定精度(±2σ)： 広視野：±5μm、 高精度：±2μm ・大幅な検査時間短縮、データ記録により顧客対応が可能となる

(1) マシニングセンター (FANUCロボドリル) の概要



(2) 画像寸法測定器の外観 (キーエンス IM-6700/6225T)

<測定ヘッド>



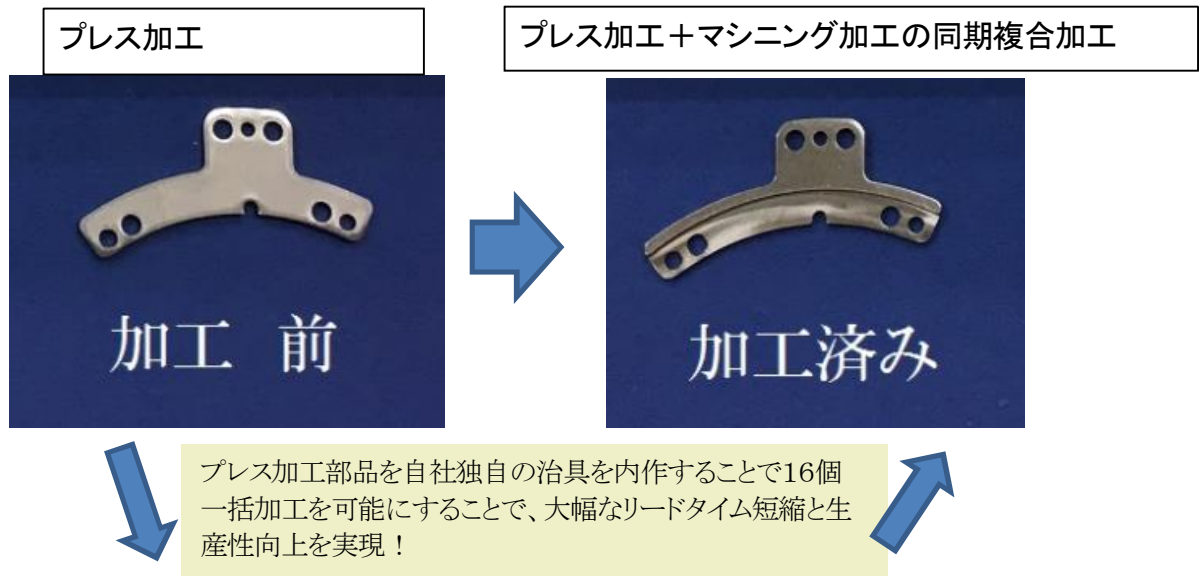
<コントローラー>



<改善が期待できる事例>

課題1, 2, 3, 4の達成によって生産リードタイム短縮、短納期化、コスト低減、画像測定による全数検査ニーズ等に応えると同時に、今後は新商品全てに対して次のような「改善事例」の実現が可能となる。

<事例1>プレス加工とマシニング加工（プレス+マシニング）による複合加工部品が自社内で一貫したワンストップサービス体制で対応できるようになる。



<事例3> 一貫生産ラインにより同時複合加工部品の事例

